

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		消防出初式開催事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030101000677
						単独/補助	単独		
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	020801
総合計画の施策名		0301 消防・防災対策の充実						課長名	防災課
政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり						グループ	防災
施策名		01 消防・防災対策の充実						担当者名	
手段名		01 ①消防防災意識の向上							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	09	01	02	01	00	非常備消防事業		
法令根拠							単年度繰返し (平成18年度~)		
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
年頭に当たり、桜川市消防団員としての責務と誇りを再認識するとともに、品位の向上及び団員相互の団結を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することを目的として消防団出初式を実施している。大和ふれあいセンター「シトラス」において式典を国、県、日本消防協会、茨城県消防協会、筑西広域消防本部の功労者表彰と併せて実施し、式典後には、大和庁舎駐車場において分列行進、その後各地区に分かれて放水試験を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 招待者名簿の作成 開催案内の送付 式典シナリオの作成 表彰状の作成 表彰状の筆耕依頼 記念品の購入 式辞作成 分列行進の位置付け 放水試験会場位置付け

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 招待者名簿の作成 開催案内の送付 式典シナリオの作成 表彰状の作成 表彰状の筆耕依頼 記念品の購入 式辞作成 分列行進の位置付け 放水試験会場位置付け 	消防団員数	人	534.00	531.00	524.00	530.00	530.00
	招待者数	人	38.00	0.00	49.00	49.00	49.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
消防団員	消防団員数	人	534.00	531.00	524.00	530.00	530.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
消防団員としての責務と誇りを再認識し団結を図る。	住みやすい住環境であると答えた人の割合	%	49.30	49.00	49.00	49.00	49.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
財源	県支出金	千円	0	0	0
内訳	地方債	千円	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源	千円	21	5	26
	事業費計 (A)	千円	21	5	26
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
	10 需用費	5		07 報償費
			10 需用費	4
			12 委託料	14
	合計	5	合計	26

事務事業名	消防出初式開催事業	事務事業No.	30101000677	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 消防団設置以来、大和ふれあいセンター「シトラス」において全団員を対象に実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 分列行進や放水試験には市民が多数見物に来ており、消防団員の勇壮な姿を見せることにより、地域の安全を消防団に任せることができ安心して生活できているという意見がある。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 消防団員としての責務と誇りを再認識するとともに、品位の向上及び団員相互の団結を図ることは防災消防体制の強化に繋がるため市の政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 出初式を行うことで消防団員相互の団結が図られ防災消防体制の強化に繋がるため、市が行うのは妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 消防団員は90%以上の参加率であり、期待どおりの成果である。全員が参加することが理想ではあるが、現時点では成果の向上は難しい。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 消防団員の士気が低下し団結も弱まることで、防災消防体制が弱体化する。市民生活の安全安心のためには継続しなければならない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 出初式の類似事業はないため、統廃合や連携はできない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない できるだけ必要最小限の事業費で行うよう努めている。また、準備及び当日の業務もあり、外部委託等はできない。人件費も必要最低限に抑えている。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 消防団員相互の団結が図られることは防災消防体制の強化に繋がり、すべての市民が受益者となるため特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)	
(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 出初式は消防団の事業の中でも主要事業であり、訓示や表彰を行うことは消防団員の士気の高揚、団結力の強化に効果的である。分列行進や放水試験は見物する市民にも好評であり、より魅力的なものになるようさらに工夫していきたい。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下 目的の再設定 効率性の改善 有効性の改善 公平性の改善 統廃合ができる 連携ができる
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/>

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>